



Nepalese Blood Donors Association, Japan



ネパール献血者協会，日本



能登半島地震の際には、災害支援に募金しました

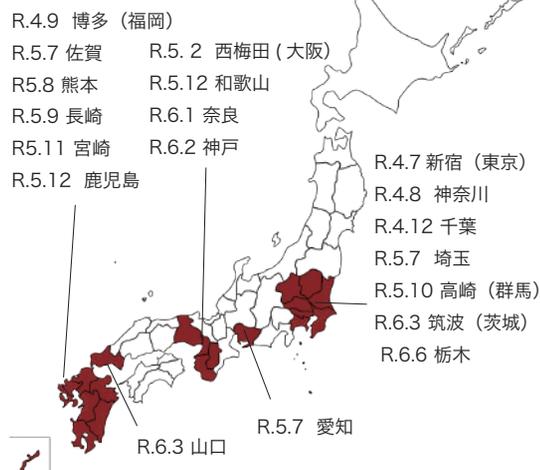


献血する代表のサハラフルマル



他県で暮らすネパール人に呼びかけて一緒に献血する

ネパール血液者協会，日本 (NBDAJ) は、日本国内に住むすべての人々に、その国籍に関係なく血液を寄付することの重要性を啓発することを目指し、2021年に活動を開始しました。日本国内の他のネパール人団体や日本の組織と協力して、さまざまな献血イベントを実施してきました。この3年間で1000人以上の新規ドナーが参加しました。また、沖縄県だけでなく日本全体に活動をひろげ、これまでに、21都府県にて献血を行いました。NBDAJでは、血液を寄付することは、今私たちが暮らしているコミュニティのためだと信じ、国籍にかかわらず献血によって命をつなぐ活動が広がる社会をめざしています。



献血は、いつでも、どこでも、誰でもできる！

文化や国籍にかかわらず献血ができるようにすることの必要性を感じ、多様なバックグラウンドを持つ人々に、命を繋ぐために献血に積極的に参加してもらえるようにサポートしています。言語の壁が献血を妨げるべきではありません。語学学校、大学、外国人が多い企業で啓発キャンペーンを行うことで、献血を希望する人々を支援しています。

ひと家族に一人の献血者

寄付された血液の受取人は誰かわかりません。それは日本人か、日本に住む外国人かもしれません。血液に関する情報を更新するために、SNSを活用し場所、方法、時期、寄付の条件などを共有し、外国人だけでなく日本人コミュニティにも献血を呼びかけています。自分が今住んでいる場所で血液を行うことの重要性を伝えていきます。

献血クイズ

- 6月14日が世界献血者デーなのは、どうして？
ABO式血液型・Rh式血液型を発見しノーベル生理学・医学賞者カール・ラントシュタイナー氏の誕生日だから。
- 献血ができるのは何歳からでしょう？
200mL献血は、男女とも16歳から。400mL献血は、男性は17歳から、女性は18歳からできます。
- 沖縄の若い人たち（16歳から29歳）も献血に行ってる？
16歳から19歳は5.4%で全国平均4.2%を上回っているけど20歳から29歳は全国平均13.5%より少し低く12.2%になっている。

※このクイズは、ネパール献血者協会の活動でボランティアとして関わってくれている高校生が作成してくれました！

【助成】 なは市民活動支援事業助成金

【協力】 那覇市若狭公民館、沖縄県赤十字献血センター、那覇市社会福祉協議会、沖縄NGOセンター、多文化ネットワークfuふ！沖縄、沖縄尚学高等学校ボランティア、ONFA(沖縄ネパール友好協会)、Tamang society Japan Okinawa Regional、Kaenail province society Japan、Nepalese people' sprogressive Forum Japan